

全国無線探索で優勝

御殿場高 システム部 市長に活躍報告

7月に新潟県で行われた「全国高校ARD F（無線探索競技）競技大会」で団体優勝と個人優勝を果たし、9月の世界選手権でも代表選手を輩出した県立御殿場高システム部が1日、御殿場市役所を訪れ、若林洋平市長に成果を報告した。市は同部に文化芸術賞賜金を贈った。

大会は4、四方の林に隠された無線機5機を探索し、ゴールまでの時間を競う。22チームが参加した団体戦で3年林洸佑、2年小林大祐、同勝間田明の3



若林市長らに大会の成績を報告する選手ら—御殿場市役所

た第16回世界選手権では、日本代表として参加した鈴木選手が31位、小林選手が27位と健闘した。市役所では、部員11人が市長らに今月開催される全日本大会で団体5連覇を目指す決意を語った。若林市長は「切磋琢磨（せつさたくま）し伝統を受け継いでいってほしい」と功績をたたえた。

静岡新聞 平成24年11月2日（金曜日）朝刊掲載

静岡新聞社編集局調査部及び、御殿場高校の掲載許諾済み